

東北支部通信

日本物理教育学会東北支部

第 120 号

2022 年 8 月 29 日 (月)

<https://sites.google.com/view/pesjtohoku/home>

【お知らせ 1】

日本物理教育学会東北支部 第 37 回研究大会 発表・参加申し込みのご案内

- 1 日 時 令和 4 年 11 月 12 日 (土)
12:00 受付
12:30 開会式 (報告・諸連絡含む)
特別講演「衛星リモートセンシング (仮題)」
佐々木崇徳 (八戸工業大学准教授)
一般発表
17:15 頃 閉 会
(懇親会 (八戸市内))
- 2 会 場 八戸工業大学 〒031-8501 青森県八戸市大字妙字大開 88-1
連絡先: 0178-25-8261 (現地実行委員直通)
(オンライン(zoom)参加あり。ただし発表は会場のみ。)
- 3 発表申込
【発表申請票】(3 ページ)にご記入の上、「発表要旨」(400 文字程度)と共にお送り下さい。
(発表申込期限) **令和 4 年 10 月 25 日 (火)**
※ 発表申し込みの方も必ず参加申し込みをして下さい。※発表は会場のみです。
- 4 発表時間 15 分 (質疑応答含む)
- 5 発表資料 発表者は B5 判、縦長、横書きに統一した Word 形式原稿 (次ページ発表申請票をご参照) を、**令和 4 年 11 月 6 日 (日)** までにメール添付等にて事務局までお送り下さい。
メール添付が難しい場合にはご相談下さい。
- 6 参加申し込み 電子メールでの申し込みにご協力ください。
(参加申込期限) **令和 4 年 11 月 6 日 (日)**
(※) FAX の場合は添付の【参加申し込み票】をご利用ください。
- 7 申込み・提出・問合せ先
事務局 宮城県宮城野高等学校 藤原 昇
〒983-0021 仙台市宮城野区田子二丁目 3 6 番 1 号
TEL: (022) 254-7211 FAX: (022) 254-7212

8 その他

- ・各種様式は東北支部のHPでダウンロードしてください。
 - ・JR 新幹線八戸駅から会場までの移動手段が不便です。
八戸駅から乗り合いタクシーを希望する場合は事前に申し込みをしてください。
(新幹線八戸駅改札前10:45集合 タクシー料金は利用者負担)
 - ・自家用車利用も可能です。
 - ・昼食は事前に済ませてください。弁当を希望する場合は事前に申し出てください。
(大学食堂休業日、会場近くにはコンビニ等がありません。)
 - ・今回は大会前の理事会は開催しません。
 - ・ポスター発表はありません。
 - ・オンライン参加の場合のミーティングID等は、大会数日前にメールでお知らせします。
 - ・オンライン参加は視聴のみで、発表は会場のみです。
 - ・今後の連絡は、メールまたは東北支部のHP上で行います。
-

【お知らせ2】

「第8回高校物理の授業に役立つ基本実験講習会 in 東北(仙台)」(予定)

- 1 日 時 令和4年12月17日(土) 11:00前後
- 2 会 場 宮城県宮城野高等学校
〒983-0021 仙台市宮城野区田子二丁目36-1
Tel: 022-254-7211 Fax: 022-254-7212
- 3 実験テーマ ①運動の法則 ②熱の実験 ③静電気の実験
(予定) ④力学的エネルギー保存 ⑤光の干渉と回折
- 4 参加費 (未定)

【第 37 回研究大会発表申請票】

物理教育学会東北支部 事務局

宮城県宮城野高等学校 藤原宛て FAX 番号：022-254-7212

第 37 回日本物理教育学会東北支部	研究大会（八戸大会）発表申請票 ※受付番号 <u>10 月 25 日</u> 期限	
標 題		
著者氏名（会員番号）		
所属（「自宅も」含む） 住所	<複数の場合には印を付けて下さい。住所は発表者のみ>	
連絡先	<○印> 自宅 / 勤務先 TEL / 電子メールアドレス	
(発表要旨：400 字前後で)：		
発表様式（該当に○）：1－PP スライドを使った講演／2－演示実験含む*		
予稿原稿は「東北物理の投稿原稿執筆要項」に準じて： B5 判（縦長）の用紙に <u>2 頁以内</u>、2 段階で横 22 文字、縦 42 行程度、マージンは上 20mm 下 22mm 左右 18mm の余白が出来るように作成。1 段組も可とする。図、表、写真がある場合は適切に配置し MS ワード形式（または、その互換形式）の予稿原稿をメール添付等でお送り下さい。MS ワード形式が難しい場合は、事務局にご相談下さい。		予稿原稿を 11 月 6 日（日）必着にて事務局宛に送ります。もし間に合わない場合には <u>予稿 A4 判 2 頁の写し</u> を 30 部会場に <u>持参します。</u> 発表申請者署名：

*）会場に特別な条件が必要でしたらお知らせ下さい。

F A X 送信票（兼 メール添付様式）

送付先	宮城県宮城野高等学校	藤原 昇 宛
	〒983-0021 仙台市宮城野区田子二丁目 3 6 番 1 号 TEL (022) 254-7211 FAX (022) 254-7212	
発信元		
送信日	月	日 ()
所属		
氏名		
電話番号		
E-mail		
【参加申し込み票】		
日本物理教育学会東北支部第 3 7 回研究大会に参加致します。		
(会場参加 ・ オンライン参加)		
会場までの乗り合いタクシー	(希望する ・ 希望しない)	
昼食弁当	(希望する ・ 希望しない)	
懇親会	(参加 ・ 不参加)	
その他、質問・要望等があればお書きください。		

申込み期限：11月6日（日）

出来る限り電子メールでのお申し込みにご協力をお願い致します。

【投稿規定】

「東北物理教育」投稿規定(新)

2015 年 11 月 7 日

(1) 投稿の種類

研究、授業紹介、随想、研究開発、座談会、大学・学部紹介、実験紹介、談話室、
大学入試分析、面白い実験の話、物理クラブ、(生徒)の研究・報告、図書紹介、その他

(2) 執筆の要領

- ① B 5 判(縦長)の用紙に、2 段組で横 2 2 文字、縦 4 2 行程度、マージンは上 2 0 mm 下 2 2 mm 左右 1 8 mm の余白が出来るように作成して下さい。難しい場合は、段組なしでも結構です。文字サイズ等の詳細は、別に示す「原稿の様式」を参照して下さい。
(様式のひな形は東北支部ホームページからダウンロードできます。)
- ② 原稿は基本的にそのまま印刷しますが、編集担当が体裁を整えることがあります。
- ③ 原稿は投稿票と共に、電子データを CD、電子メール等でお送り下さい。
(投稿票は東北支部ホームページからダウンロードできます。)
- ④ 枚数に制限はありませんが、できるだけ 6 ページ程度に収めて下さい。
- ⑤ 割り付け：投稿者が、図・表・写真を原稿に挿入できない場合は、その位置と大きさを決めて、原稿の中に指定して下さい。図・表・写真には、別々に一連の番号を付して、原稿ファイルとは別のデータファイルとしてお送り下さい。
- ⑥ 本文中に引用した文献は、上付の通し番号 1) 2) を付した上で、一括して論文の末尾に、著者名・雑誌名・巻・号(年)・頁の順に示して下さい。
- ⑦ カラー写真及びカラーページによる掲載を希望する場合は、編集委員会でカラーであることが適切であると認められた場合、その部分にかかる実費を負担いただくことで可能とします。

(3) 投稿原稿の著作権

- ① 本誌に採録決定された論文等(以下、論文とする)の著作権は日本物理教育学会東北支部(以下、本支部とする)に帰属します。したがって、本支部ホームページへの論文の掲載等については本支部に権利があるとします。なお、本支部の他の出版物(支部通信等)に採録決定された論文についても同様の扱いとします。
- ② 投稿に際しては、論文として採録された場合に、当該原稿の著作権が本支部に帰属することを著者全員が同意しているものとみなします。投稿者は、共著者全員に本投稿規定を示し、この点に関する了解を得た上で投稿して下さい。
- ③ 採録後の掲載論文について、著者自身による学術教育目的等での利用(著者自身による編集著作物への転載、掲載、WWW による公衆送信、複写して配布等を含む)を、本支部は無条件で許諾します。このとき、著者は本支部に許諾申請をする必要はありませんが、出典(論文誌名、巻号ページ、出版年)を記載しなければなりません。
- ④ 採録後の掲載論文について、著者の雇用機関による学術教育目的等での非営利利用(雇用機関の被雇用者の論文のみからなる論文集、紀要、本などへの掲載、WWW による公衆送信、複写して配布等を含む)を、本支部は無条件で許諾します。このとき、著者及び雇用機関は本支部に許諾申請をする必要はありませんが、出典(論文誌名、巻号ページ、出版年)を記載しなければなりません。ただし、営利目的の広告の場合等は許諾が必要です。
- ⑤ 「著者または雇用機関」以外の第三者の利用は、本支部への許諾申請が必要となり、営利目的と判断された場合は、課金することもあります。

(4) 原稿の提出先

事務局：宮城県宮城野高等学校内 事務局 藤原 昇
〒983-0021 宮城県仙台市宮城野区田子 2-36-1 [TEL:022-254-7211](tel:022-254-7211)

申し合わせ：「東北物理教育」の特集テーマに関する取り扱いについて

以下のような例示の内容で特集を企画し、会員から投稿を募ることがあります。この場合、通常の編集委員ではなく、編集委員を座長にして、臨時に若手会員数名を募集し編集に当たってもらうことがあります。その他、支部通信に論文等を掲載する場を設けて、適当な時期に集大成するなどが考えられます。

【特集としてのテーマ例】

- ① 課題研究の実践例の紹介と調査
 - ② 生徒・学生の理科離れ
 - ③ どこが教えにくいのか
 - ④ どんな時にそっぽを向くか
 - ⑤ 最先端の物理を易しく教える
 - ⑥ 学習指導要領と物理教育
 - ⑦ 高校・大学での制度・組織・運営見直しへの対応と物理教育など
-

【報 告】

日本物理教育学会東北支部令和4年度総会(2022.6.11)の報告

議案第一・第二 令和3年度行事・決算・監査報告 → 承認

議案第三・第四 令和4年度行事案・予算案・役員案 → 承認

(会場参加 18 名、オンライン参加 4 名、委任状 23 名)

特別企画：須藤彰三先生ご退官記念講演「私の愛した教育と研究」

(上記総会参加者に加え、大学関係者の会場聴講 7 名、オンライン聴講 10 名)

【目 次】

【お知らせ 1】日本物理教育学会東北支部第37回研究大会 発表・参加申し込みのご案内	1 - 4
【お知らせ 2】「第8回高校物理の授業に役立つ 基本実験講習会 in 東北（仙台）」について	2
【投稿規定】	5 - 6
【報 告】日本物理教育学会東北支部令和4年度総会の報告	6
【目次】【編集後記】	7

【編集後記】

先日、長崎大学にて第38回物理教育研究大会が3年ぶりの対面で開催されました。参加者数や評議員会の形式など、まだコロナ前の状況と完全に同じというわけにはいきませんでした。が、確実にこれまでの正常な状態に戻りつつあることを実感しました。オンライン開催や対面とのハイブリッド開催は、慣れてくればメリットも十分感じられるところもありますが、やはり人と人は直に向き合って意見を交わすのがいいなと改めて思う次第です。

さて、これまで不遇な状況下に置かれた教育環境を、それまでの不足分を補うべく改善・改良していくことが急務です。対話的な学習活動、班員で協力しながら実際に手を動かして体験する生徒実験など、これまでできなかった活動を少しずつ確実に実施していくことが求められています。準備も大変ですが、児童・生徒・学生らにとって一度しかない学校での学習活動を精一杯支えていきたいと思えます。思いませんか？ 思えますよね？ 思いましょう！

（井上 清）

日本物理教育学会東北支部通信 第120号 2022年8月29日発行

編集者 内 山 哲 治

発行者 日本物理教育学会東北支部
事務局 〒983-0021 仙台市宮城野区田子二丁目36番1号
宮城県宮城野高等学校 藤原 昇
TEL(022)254-7211 FAX(022)254-7212